資料６

市指定有形文化財（彫刻）木造裸形阿弥陀如来立像修理状況について（事業報告）

（１）補助事業にかかる文化財の概要

ア　文化財の名称等

名称	構造形式及び寸法	所在地	指定年月日	備考
木造裸形阿弥陀如来立像	室町時代 像高６６.６ｃｍ 臀張２０．８ｃｍ	正眼寺 （久喜市菖蒲町小林４３３５）	平成１０年 ２月２０日	

イ　過去における事業内容とその実施年度

なし

ウ　現在の状況

仏像の表面を被っている後補の粗悪な塗り（白土地に弁柄漆塗り）は、ひび割れ・剥落がみられ、今後も進行すると予測されたことから、修理を行った。

（２）補助事業の内容

ア　概要

後補の粗悪な彩色及び下地を除去して元の形を確認し、造像当初の形に復した。

台座は、矧ぎ目に亀裂や部分的に矧ぎ目が緩んでいる箇所もあるので、解体し再構築した。また、現在は光背が付いていないが、簡素な円光背を付けた。

イ　工事事務

① 久喜市補助金等の交付に関する規則、久喜市指定文化財補助金交付要綱、久喜市財務規則、その他関係法規を参照して事務を運営した。
② 予算の執行は正眼寺が行うが、工事の積算、完成検査などについては、正眼寺と久喜市の二者で行った。
③ 設計、仕様、経費の配分等に変更が生じた場合には、久喜市に申請し、許可を得て実施した。
④ 事業の完了後は、書式に従って関係書類を添付した実績報告書を１０日以内に久喜市あてに提出した。

ウ　工事仕様

事業及び予算額	事業期間	事業内容	施工業者
木造裸形阿弥陀如来立像修理 1,962,883 円	令和７年４月１１日 ～ 令和８年３月３１日	正眼寺蔵木造裸形阿弥陀如来立像の修理	（有）古文化財保存修復研究所

①修理対象文化財名称
　木造裸形阿弥陀如来立像

②施工内容
　１）本体
　　ア．全体の埃等を清掃した。
　　イ．後補の表面の下地、彩色を除去した。
　　ウ．露わになった木地を補修した。
　　エ．木部をいったんすべての部材に解体した。
　　オ．解体した部材を再び組み立てた。
　　カ．矧ぎ目を木屎漆で充填・整形を行った。
　　キ．欠失している左手第３，５指の先端を新補した。
　　ク．欠失している右手第３，４指の先端を新補した。
　　ケ．新補部分・補修部分に最小限の補彩を行い全体に調和させた。

　２）台座
　　ア．全体の埃を清掃した。
　　イ．各部材を解体した。
　　ウ．表面に剥落止めを行った。（膠・漆・合成樹脂等を使い分け行った）
　　エ．取り外した部材を再接合した。
　　オ．解体した部材を再び組み立てた。
　　カ．矧ぎ目を木屎漆で充填・整形を行った。
　　キ．欠損した表面に下地を施し、黒漆を塗り、漆箔を施した。
　　ク．補修部分に最小限の補彩を行い全体に調和させた。
　　　光背の軸木を固定する部分を修正した。

　３）光背
　　ア．新たに円光背を新補した。
　　イ．周円部と軸木を新たに製作した。
　　ウ．新補した木部に漆下地を塗り乾いたら磨いだ（複数回行う）
　　エ．周円部と軸木に黒漆を塗り乾いたのちに周円部のみに漆箔を施した。
　　オ．周円部の内側（凹部分内側）に彩色（青）を施した。
　　カ．全体（像、台座）に合わせ新補部に古色を施した。

③報告書
　１）内容
　　ア．報告書には、修理対象となる文化財の概要、形状及び構造、法量、修理報告、図版などを掲載した。
　　イ．修理対象となる文化財の概要には、指定文化財としての情報（種別、指定年月日、名称、員数、所在地、所有者）も併せて記載した。
　　ウ．修理報告には、損傷状態や修理方針、施行内容などを記載した。
　　エ．図版には修理過程で撮影した写真などを掲載した。
　　オ．写真は、修理着手前の仏像全体及び損傷箇所、修理過程、修理完了後の仏像全体及び修理箇所を掲載した。
　　カ．上記のほか、胎内に墨書や納入物等が見られた場合は、随時掲載した。

キ．写真はカラー印刷とした。

④監修

ア．修理監修者を設け修理方針や進捗管理などを監修者へ委託した。

イ．修理監修者による監修は、修理実施前、修理実施中、修理実施後の３回とした。

ウ．事業者、施行業者、久喜市、監修者の４者で行った。

⑤補助対象外事業

白毫を水晶で新補した。なお、経費は、補助事業者の正眼寺が全額負担の上で実施した。

（３）工程表

下記のとおり

上段：計画

下段：実績

事 業 名	木造裸形阿弥陀如来立像修理	期間　令和 ７ 年 ４ 月１１日着手 令和 ８ 年 ３ 月３１日完了											
施　行 部　目	全事業に対する比率	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
事務	20%	←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
		←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
修理	80%		←	―	―	―	―	―	―	―	―	→	
			←	―	―	―	―	―	―	―	―	―	→
合　計	100%												

市指定有形文化財（彫刻）木造裸形阿弥陀如来立像修理状況について（収支決算書）

イ．収入の部

内　　訳	申　請　額	収　入　額	差　　額	備　　考
市補助金	981,000	981,000	0	
所有者負担金	981,883	981,883	0	
合　　計	1,962,883	1,962,883	0	

ロ．支出の部

内　　訳	申　請　額	収　入　額	差　　額	備　　考
市指定文化財「木造裸形阿弥陀如来立像」修理費	1,922,883	1,922,883	0	
事務経費	40,000	40,000	0	
合　　計	1,962,883	1,962,883	0	

ハ．支出内訳明細書

（目）　　工事請負費

種　　別	摘　　要	員　　数	単　　価	金　　額	備　　考
請負費	市指定文化財「木造裸形阿弥陀如来立像」修理費	一式	1,922,883	1,922,883	消費税込み
小　計				1,922,883	①

（目）　　報償費

種　　別	摘　　要	員　　数	単　　価	金　　額	備　　考
修理監修者謝金	1人	―	40,000	40,000	事業計画・実施のため
小　計				40,000	②

合　計（消費税込み）	1,962,883	①+②

正眼寺　蔵

「木造　裸形阿弥陀如来立像」

修理工程写真（一部抜粋）

令和８年３月 30 日

有限会社古文化財保存修復研究所

「木造　裸形阿弥陀如来立像」修理工程写真

「裸形阿弥陀如来立像」修理前写真



正　面



背　面



右側面



左側面



頭部・右斜めの状態。



背面・上半身の状態。



背面・下半身の状態

台座－修理前写真



正面



背面



左側面



右側面



蓮肉部・上面



台座・上段部・裏側

「裸形阿弥陀如来立像」修理後写真



正　面（光背付き）



背　面



右側面



左側面



頭部・右斜め前



上半身・背面



背面・下半身の状態

「台座」修理後



正　面



背　面



右側面



左側面



上　面

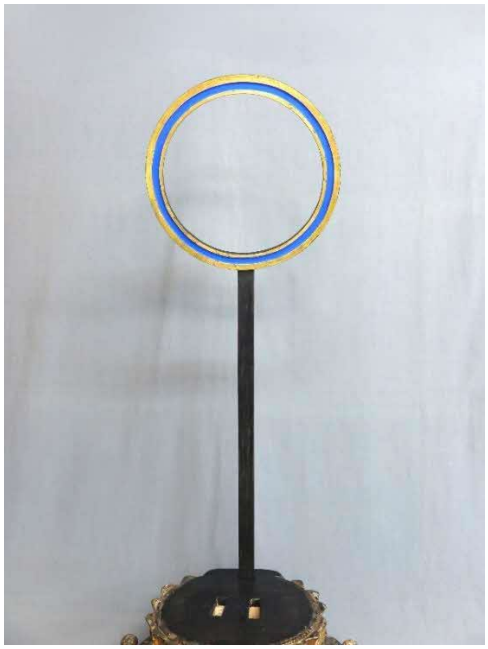


下　面

「光背」新補後



台座・光背



光　背

木造正観音菩薩坐像・解体写真



解体写真（表）



解体写真（裏）